

文部科学省物品・役務等契約監視委員会（第48回）議事概要

開催日及び場所	令和元年12月19日（木） 文部科学省 会計課会議室	
出席委員 (敬称略)	<p>○委員長 有川 博（愛国学園大学教授）</p> <p>○委員 大谷 益世（公認会計士） 清水 光（弁護士） 松浦 亨（北海道大学病院客員診療教授）</p>	
審議対象期間	平成31年4月1日～令和元年6月30日	
個別審査案件	8件	<p>○議事</p> <p>(1) 令和元年度第1四半期に締結した契約の概要</p> <p>(2) 個別審査対象案件</p> <p>(3) 随意契約事前確認公募実施案件に係る審査</p> <p>(4) その他</p>
一般競争入札方式	5件	
最低価格方式	4件	
最高価格方式	0件	
総合評価方式	1件	
指名競争入札方式	0件	
最低価格方式	0件	
総合評価方式	0件	
随意契約方式	3件	
企画競争	3件	
公 募	0件	
競争性のない随意契約	0件	
不落随意契約	0件	
事前審査案件	0件	
委員からの意見・質問、 それに対する回答等	別紙のとおり	
委員会による意見の内容	審議の過程で検討や見直しをしていただきたいと申し上げた点については適切に対応をお願いすることとし、全体としては問題なく処理されている。	

質 問 ・ 意 見	回 答
<p>個別審査案件について（以下、審査順）</p> <p>①アジア太平洋地域世界遺産等文化財保護協力推進事業</p> <p style="text-align: center;">【随意契約（企画競争方式）】 （文化庁文化資源活用課文化遺産国際協力室）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 一者応札となった理由は何と分析しているのか。 ・ このまま企画競争を続けても一者応札をくり返すことになると思われるため、随意契約事前確認公募を実施し、他の事業者で本当に実施可能な者がいるかどうかの確認をしてはどうか。 <p>②2019年度第1回高等学校卒業程度認定試験出願処理データ入力業務 一式</p> <p style="text-align: center;">【一般競争入札（最低価格落札方式）】 （大臣官房会計課）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 初めは4者が入札して、入札価格が両極端に分かれているように見えるが、この要因は何と分析しているか。 ・ 業界によって繁忙期はほぼ決まっていると思わ 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本件契約相手と同程度文化遺産保護について国際的な知見を有している国立文化財機構にヒアリングしたところ、本事業のためだけにさらに人を雇う必要があることが非常にネックであり、現実的に他の機関で同規模の事業実施は厳しいということが分かった。 ・ 本事業について、随意契約事前確認公募の導入に向け手続きを進めたい。 ・ 入札価格が分かれた理由は不明であるが、落札した業者にヒアリングを行い、なぜこれだけ安価な価格で入れたかというのを聞いたところ、当時、その業者にとって閑散期ということで、かなり安価でも受注したいということで、安い価格で応札したと聞いている。 ・ 早め早めの発注情報の発信に努めたい。

れるため、繁忙期に被らないように早めに業者を決めれば、その分余裕をもって事業者がスケジュール等を考慮できるというがあるので、早め早めに公告をしていただきたい。

③OECD-PISA 2021年調査支援業務 一式

【一般競争入札（最低価格落札方式）】

（国立教育政策研究所総務部）

- ・ 本調達には 12%の落札率で契約を締結しているが、その予定価格との差分が労働者に転嫁されていないか、少なくともこの契約を発注した文科省として可能な範囲で、履行状況のところを、調べて、妥当な価格競争に誘導していただきたい。
- ・

④地震調査研究推進本部の評価等支援事業

【一般競争（総合評価落札方式）】

（研究開発局地震・防災研究課）

- ・ 一者応札ということであるが、落札した者以外が手を挙げてこない理由は何と分析しているのか。
- ・ 単に入札条件を緩和するだけで応札者を増やすことは困難であると思われる。この事業を受託するために適切な共同事業体のモデルを示す必要がある。次回の調達時まで、最も適切な契約方式の見極めが望まれる。

- ・ 承知した。まずは、今回の調達において低入札調査しているので、事業者に対し履行状況を含めて、低入札の際に出した理由書のとおり適切に履行されているのか確認するようにしたい。

- ・ 一者応札であった理由としては、専門性の高い人材の確保が質と量の両面で困難であったのではないかと想定される。そのことから、入札条件として共同事業体での応札も可能といったことも明記し、一者応札改善に向け取り組んでいるところ。
- ・ 次回の調達に向けて検討したい。

⑤不正アクセスリアルタイム防御及び監視業務
【一般競争（最低価格落札方式）】
（科学技術・学術政策研究所）

・一者応札となった要因をどう分析しているか。

・現状、文科省のサーバーと科政研のサーバーがそれぞれ独立しているとのことだが、本件調達に係る監視装置を含めた情報システムの更新時に、同一のサーバーで同一の監視業務を行うようにするなど、監視システムを根本から検討し直すことが望まれる。

⑥2019年ラグビーワールドカップ普及啓発事業
【随意契約（企画競争方式）】
（スポーツ庁国際課）

・一者応札となった要因をどう分析しているか。

・1年分追加する予算が認められたのであれば、継続して随意契約を締結するか、事業内容の軽微な

・事業者ヒアリングを行ったところ、本調達が当所の指定するサーバーにおいて不正アクセス防御装置より出力されるログを、専門知識を持ったセキュリティアナリストが24時間365日リアルタイムで分析して、インシデント情報の報告を行う専門的な業務であり、要求仕様を満たす体制を整備することが難しいという回答があった。

・文科省と科政研のサーバーおよび監視業務の統合を将来的に考えており、統合に向けた一番適切な契約手続きの実施に取り組む。

・前回の調達では平成28年度から3か年契約を締結し、平成30年度で終了する予定であったが、新たに太平洋諸国の子供たちを日本に呼んで、日本の学校の生徒たちとラグビーによる交流を行うという一年限りのプログラムを追加することになり、実施できる事業者が前回の事業者に限られたためと考えている。

・契約監視委員会による検証の結果を受けて、引き続き改善に取り組みたい。

変更による変更契約でもよかったのではないかと
思われる。ただし、延長する可能性があるのなら
ば、最初からそれを前提とした調達を実施するべ
きであった。

**⑦2019年度「大学における文化芸術推進事業」運営
業務**

**【一般競争入札方式（最低価格落札方式）】
（文化庁参事官（芸術文化担当）付）**

- ・ 単年度契約であるが、複数年度契約にしないと、
最初に入ってきた事業者以外が、2年目以降参
入するのは大変難しい業務であると思われる
が、複数年契約にしなかった理由は何か。
- ・ 予算の要求として難しいという面はよく分かる
が、よっぽど気を付けないとずっと一者入札が
続くことになると思うので、きちんと注意して
いただきたい。
- ・ 事業者にとってみれば、どういう中身を展開すれ
ば補助事業として採択されるのかがよく分からな
いところがあるので、そのところを日本旅行に
任せるのではなくて、きちんと文化庁が行政の役
割として、しっかり制度設計していただきたい。

**⑧平成31（2019）年度「文化芸術による子供育成総
合事業」（芸術教育における芸術担当教員等研修事
業）委託業務**

**【随意契約（企画競争方式）】
（文化庁参事官（芸術文化担当）付）**

- ・ 本事業を単年度で実施できないとは我々は考
えておりません。ただ、初年度は確かに幾ら
補助金のことを一生懸命勉強しても、理解す
るための時間も必要であることから、初年度
はハードルが高いのではないかと思います。
- ・ ご懸念の点について注意したい。
- ・ 承知しました。

<ul style="list-style-type: none"> ・ 一者応札となった要因をどう分析しているか。 ・ 本事業は、東京藝術大学以外の芸術系大学が単独で応札するのは難しいと思われるが、共同実施による応募を促進するなど、1年目の反省を踏まえ、着実に事業が実施できる体制を整え次年度に活かしてほしい。 <p>随意契約事前確認公募審査案件について (以下、審査順)</p> <p>カモシカモニタリング事業 文化庁文化財第二課</p> <p>近現代建造物（土木）（建築） 文化庁文化資源活用課</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 常設的事前確認公募を確実に実施する前提で、3件の事業につき、事前確認公募に移行することに委員会として賛成という意見である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業が1年目であり周知が足りなかったこと、また、応募期間も非常に短かったことから、事業者において委託内容に見合った業務体制を整えるための企画立案が間に合わなかったことが原因と考えている。 ・ 次年度は公募期間の延長及び公募に係る説明会を行うとともに、契約監視委員会による指摘を踏まえ、より多くの競争参加者が応募できるよう改善に取り組みたい。
-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------